川口１丁目１番

第一種市街地再開発事業

愛称「キュポ・ラ」

『キュポ・ラ』は、市の地場産業である鋳物の象徴とも言うべきキューポラをイメージし発展させた造語で、川口ならではのわかりやすく、誰にでも親しみやすく、しかも新しい川口をイメージする響きを持ち、「文化が力強く発展する土地」という意味合いを持たせた愛称です。この愛称は、一般公募作品の中から選ばれました。

キューポラは、英語で「CUPOLA」と書きますが、愛称の『キュポ・ラ』は、『ＣＵＰＯ・ＬＡ』と表記します。

「CU」・・・CULTURE（文化）
「PO」・・・POWER（力）
　　POSITIVE（積極的）
　　POSSIBLE（可能な）
「LA」・・・LARGE（大きい）
　　LAND（土地）
という意味があります。

地区の概要

当地区は、ＪＲ川口駅東口の南に位置する旧国鉄貨物ヤード跡地と老朽化した店舗や住宅が混在する面積約２．３ｈａの地区です。

『川口の顔づくり』として整備を進めてきた駅周辺地区において、都市機能の更新及び都市の活性化に寄与する施設整備を進めました。

事業の目的

●市街地再開発事業により、駅前交通広場の拡張、善光寺荒川線の拡幅、川口駅東西連絡歩行者専用道路の延伸等の公共施設の整備を図り、安全で潤いのある市街地形成を図る。

●駅前の立地を活かした商業施設、公益施設、都市型の超高層住宅等の整備を行い、市民が集い、憩いと賑わいのある魅力的な川口の都市空間を創出する。

整備方針

１．施設建築物
- 商業施設は、核店舗と権利者等の店舗が一体となり、駅周辺の商業回遊性の向上に寄与する都市型ショッピングセンターを形成する。
- 公益施設は、駅前の好立地を活かし市民のサービスに寄与する各種施設により構成する。
- 住宅施設は、時代のニーズに応える高品質な分譲住宅と新しい生活スタイルに対応した賃貸住宅を建設する。

２．施設建築敷地
- 歩行者の為の空地や通路等を設け、周辺住民及び施設利用者の安全性・利便性を図り、安らぎと潤いのある都市環境を創出する。

３．公共施設
- 駅前の混雑緩和と交通利便性の向上を図るため善光寺荒川線等の街路整備を行うと共に利用しやすい駐車場を整備する。

保育園　(本館棟8階)

行政センター　(本館棟4階)

施設の概要

① 敷地面積　　約　１５，０００㎡
② 建築面積　　約　１０，３００㎡
③ 延べ面積　　約　１００，９００㎡
④ 施設内容

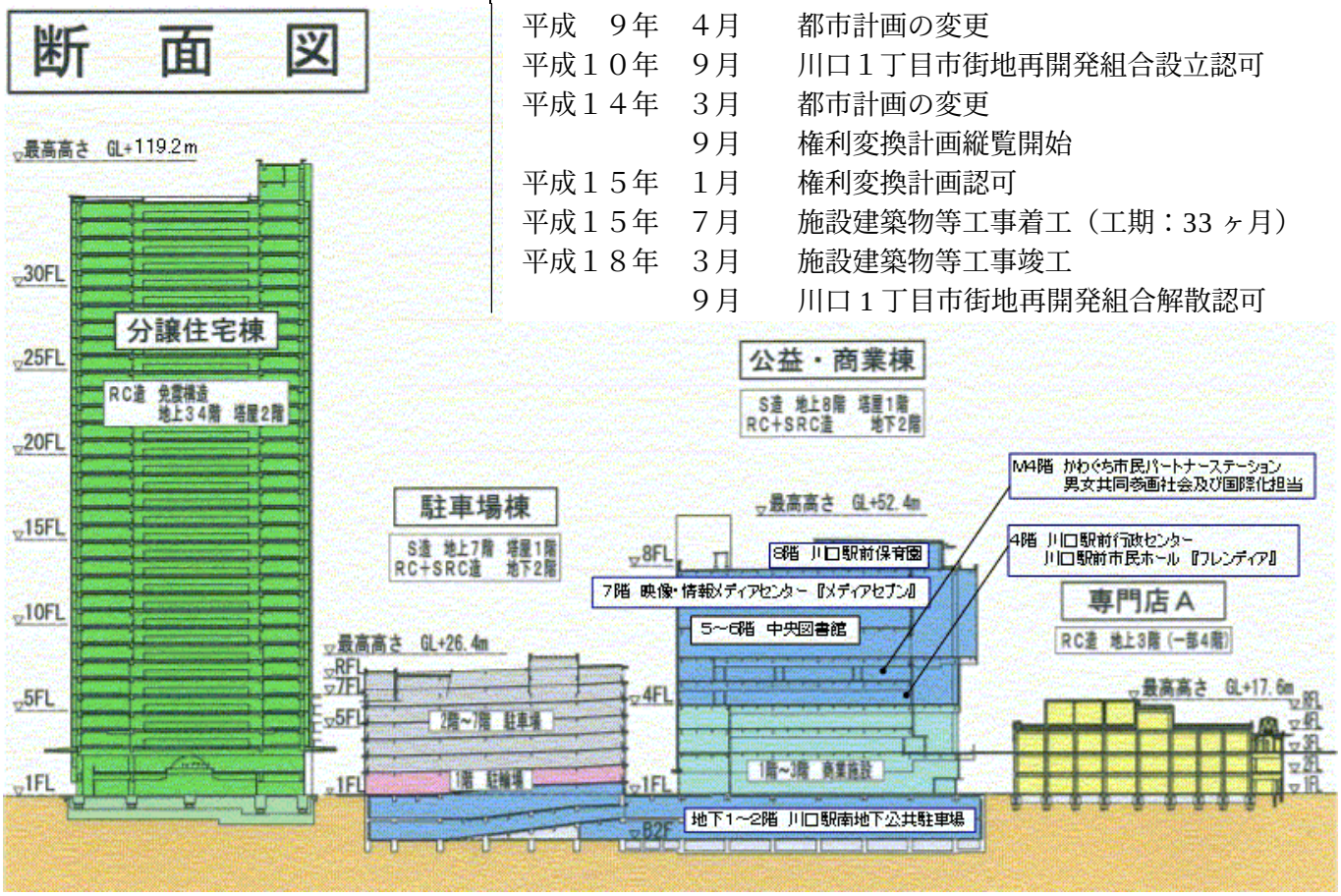
○分譲住宅棟（住居戸数　４１７戸）
　構造・規模‥‥鉄筋コンクリート造　地上３４階

○賃貸住宅棟（住居戸数　　９１戸）
　構造・規模‥‥鉄筋コンクリート造　地上１４階

○本館棟（公益・商業施設、駐車場）
　構造・規模‥‥鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
　　鉄骨造　　地下２階、地上８階
　商 業 施 設：核テナント・戸割店舗
　公 益 施 設：保育園、図書館、行政センター、市民ホール他
　駐車場施設：２４８台

○駐車場棟
　構造・規模‥‥鉄骨造　地上７階
　駐輪場施設：７８０台
　駐車場施設：２８７台

⑤ 容積率　　約　５０５％
⑥ 建物の高さ　約　１２０m

事業の経緯

昭和６０年	９月	寿街づくり勉強会発足
昭和６２年	１月	川口１丁目再開発協議会設立
昭和６３年	７月	川口１丁目再開発準備組合設立
平成　３年	１２月	都市計画決定
平成　９年	４月	都市計画の変更
平成１０年	９月	川口１丁目市街地再開発組合設立認可
平成１４年	３月	都市計画の変更
	９月	権利変換計画縦覧開始
平成１５年	１月	権利変換計画認可
平成１５年	７月	施設建築物等工事着工（工期：33 ヶ月）
平成１８年	３月	施設建築物等工事竣工
	９月	川口１丁目市街地再開発組合解散認可